

# 魏志倭人伝の新しい解釈

田中章介先生講演会

わが国税制に関する最初の記述が魏志倭人伝の「収租賦有邸閣」の六文字であることに注目した税法研究者が、卑弥呼と邪馬台国の時代の国家観に踏み込んで新説を展開する講演会！

日時

2019年 **12月14日** 土  
13時～16時30分

場所

公立鳥取環境大学

100 講義室

〒689-1111 鳥取市若葉台北 1-1-1

## スケジュール

- 13:00 開会挨拶 (小林朋道) 趣旨説明 (浅川滋男)
  - 13:15 田中章介先生講演 (1)  
魏志倭人伝「収租賦有邸閣」の解釈
  - 14:00 コメント：茶谷 満 (鳥取県立博物館・中国考古学)  
中国考古学からみた「邸閣」のイメージ
  - 14:30 休憩
  - 14:50 田中章介先生講演 (2)  
魏志倭人伝に係る、もう一つの解釈—邪馬台国位置論に関連して
  - 15:40 コメント：中原 斉 (鳥取県文化財局長・考古学)  
倭人伝にみえる投馬 (つま) 国と山陰の関係遺跡
  - 16:10 質疑応答
  - 16:30 終了
- 司会：浅川滋男 (建築史)  
副司会：真田廣幸 (考古学)・政田 孝 (税制論)



田中章介先生  
《略歴》

- 1935年 静岡県生まれ
- 大阪大学大学院法学研究科博士課程修了
- 博士 (法学)「税と『邸閣』の認識と論議」
- 弘前大学、和歌山大学、鳥取環境大学、大阪学院大学 法学研究科で教授を歴任。
- 2004年 黄綬褒章受章

《主著・論文》

『判例と租税法律主義』  
(中央経済社 1994・日本公認会計士協会学術賞)

『実習簿記・会計』(清文社 2006)  
「魏志倭人伝『収租賦有邸閣』の解釈」  
(『税』67巻3号 pp.156-180、2012)  
「邪馬台国における『租』税と『邸閣』」  
(『阪大法学』62巻3号 pp.9/6-1004、2012)  
『魏志』倭人伝に係る、もう一つの解釈  
—邪馬台国位置論に関連して—  
(『大阪学院大学人文自然論叢』第77-78号 pp.1-23、2019)

鳥取環境大学では2001年度から4年間、環境政策学部の教授を務め、その後7年間、客員教授として大学院生を指導。

定員200名先着順



鳥取市 松原田中遺跡の集中式倉庫群復元CG (3世紀後半) 制作：環境大学保存修復スタジオ+宮本正宗

主催：公立鳥取環境大学

後援：鳥取県・中国地理学会鳥取県支部連合会・新日本海新聞社

事務局・お問い合わせ：公立鳥取環境大学保存修復スタジオ

FAX 0857-38-6775 TEL 090-1449-9213

※できるだけメールでお問い合わせ下さい

E-mail: hozonshufuk@kankyo-u.ac.jp